



芳野小

ロボット動いた

プログラミング体験講座

ロボットを自分たちで動かすためのプログラミング体験講座が24日、熊本市西区の芳野小で開かれた。4～6年生24人がプログラムの入力に挑戦し、二足歩行のロボットを動かして楽しんだ。

県職業能力開発協会が厚労省認定の「ITマスター」を派遣する講座で、県内では初の

開催。小学校でのプログラミング教育が2020年に必修化されるのを見据え企画した。同協会が二足歩行ロボットNAO（ナオ）を5体準備。崇城大情報学部の川本正道講師（58）の指導で、児童らはタブレットを操作し、文字を入力して好きな言葉をしゃべらせたり、感情を表現する動きを加えたりしていた。

その後、児童らは班ごとにそれぞれ自由なシナリオを組み立て、ロボットを操った。6年の大村綾さんは「初めて経験したけど、自分たちの操作でロボットが動いたり歩いたりするのがすごいと思った」と話した。

（酒森希）